

事業所名 創伸館放課後デイ 栗山

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

R6 年

10 月

31 日

法人（事業所）理念		子ども達がのびのびと過ごせる居場所を創る					
支援方針		利用者主体の良質なサービスの提供 本人の将来や家族の視点に立った支援を通して内発的な意欲を大切にしながら社会性を身に付けていく					
営業時間		11 時	15 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人 支 援	健康・生活	構造化を意識した子どもへの提示 一日のスケジュールを明示し、時間に合わせた行動の切り替え 小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細やかな観察を行う 買い物や日々の掃除を通して金銭感覚や日常生活に必要な行動を学ぶ					
	運動・感覚	トランポリン、ボール、風船、等の道具を用いた運動で手足の協調性、反射神経、体幹を養う活動を実施 描く、貼る、塗る、切るに関する制作活動や創造力、構成力、集中力を高める知育玩具を用いて指先や手の細かい動きを鍛える活動を実施 個別活動の中で、椅子や机を用いた支援において正しい姿勢の習得を支援する 公園での自由な動きを通して運動能力の促進を図る					
	認知・行動	災害等の避難訓練や悪天候時等で緊急避難が出来ない場合などの非日常の状況下でも落ち着いて行動できるように支援する 今あるものを使って如何に楽しめるか考え行動出来るように支援する 時間を決めて遊んだり片づけをしたりすることで時間の管理や計画性を習慣化できるように支援する					
	言語 コミュニケーション	話し合い等で自分たちで考え意見を述べて折り合いを付けたり判断出来るように支援する ルールや当日の予定などを掲示板や書き出し等を使って視覚化していく あいさつや日常の会話等を通じて、円滑にコミュニケーションができるように支援する					
	人間関係 社会性	面談や日々の関わり合いを通してアタッチメントを形成する 集団活動を通してルールを守って遊ぶ社会性の発達を支援する 遊びを通して人の動きを模倣することにより環境調整並びに関わりを学ぶ 一人遊び、並行遊び、連合的な遊びを提案し感覚運動遊びから象徴遊びへと支援していく					
家族支援		子どもの困りごと（兄弟を含む）に対して、相談援助等を行う （事業所等での対面や居宅訪問） 保護者会やペアレントトレーニングを実施			移行支援	併用利用先や学校等と子供の状態や支援等についての情報共有や支援内容等（得意不得意やその背景の共有など）の擦り合わせを行う等の連携・支援の取り組み	
地域支援・地域連携		地域の行事に参加 子育て支援サークルや地域住民との交流			職員の質の向上	虐待防止や身体拘束防止など権利擁護研修を実施し職員の権利意識向上を図る 発達支援などに関わる研修を実施し子どもに対する関わり方などの資質向上を図る 日々の意見交換（PDCAサイクルを実行していくこと）	
主な行事等		長期休暇等の際に遠足や教室イベントを実施 お正月、イースター、お花見、ハロウィン、クリスマス等の特別なイベントを実施					